

# 金枝 万作（かなえだ・まんさく）

## 1、プロフィール

川柳作家。昭和5年川柳入門。青森県川柳社創立同人。県川柳作品のアンソロジーを3冊にまとめ出版する等、県柳界の大きな支えであった。

<生没>

1908(明治41)年11月13日～1986(昭和61)年5月22日

<代表作>

句集『津軽に生きる』

<青森との関わり>

南津軽郡黒石町(現黒石市)に生まれる。北奥羽信用金庫(現あおもり信金)勤務。

## 2、作家解説

明治41年南津軽郡黒石町(現黒石市)に生まれる。本名久夫。青森商業高校卒。中央大学中退後東京にある東亜燃料株式会社に昭和15年頃まで勤務。戦後は北奥羽信用金庫(現あおもり信金)勤務、重役として活躍する。

昭和5年、後藤蝶五郎と句会で出会い川柳入門。9年上京後「みちのく東京後援会」設立。川柳研究句会に参加、中央柳人と交流を深めた。23年青森県川柳社創立に尽力、同創立メンバーとなる。28年「不浪人賞」「年度賞」「蝶五郎賞」の立案設定。同年「青森県川柳人連盟」を設立、幹事長を務める。33年37年と不浪人賞を中心とした県柳人のアンソロジー『川柳句集万華鏡』を自費出版。53年青森県川柳社30周年記念として、「ねぶた」誌上の30年間の秀句を一冊にまとめ『川柳句集ねぶた』を編集出版。54年、「ねぶた」の同人欄「山家集」推薦選者の句文集『ねぶた囃子』を編集出版。

県柳界の裏方に徹し大きな支えとして活躍。特に4冊のアンソロジーは県柳界にとって貴重な資料であり財産である。

昭和 61 年 5 月 22 日死去。享年 77。

### 3、資料紹介

#### ○川柳句集『萬華鏡』

図書

1958(昭和 33)年 7 月 10 日

140 mm × 105 mm

青森県川柳社の不浪人賞を中心とした作品集。昭和 29 年から昭和 31 年までの 3 年間の不浪人賞の作品とその候補作品を掲載。編集兼発行人金枝万作。発行所青森県川柳人連盟。編者による自費出版。

#### ○川柳句集『あおもり萬華鏡』第二集

図書

1962(昭和 37)年 2 月 1 日

180 mm × 130 mm

「萬華鏡」第一集の後の第二集。昭和 32 年から昭和 34 年までの不浪人賞の作品とその候補作品を掲載。編集兼発行金枝万作。発行所青森県川柳人連盟。編者による自費出版。

#### ○川柳句集『ねぶた』

図書

1978(昭和 53)年 9 月 20 日

195 mm × 135 mm

青森県川柳社 30 周年記念に出版された「ねぶた」誌の 30 年(昭和 23 年から昭和 52 年)間の秀句をまとめた一冊。

作品の質も高く戦後の県川柳のひとつの集大成とも言える。編者金枝万作。発行所青森県川柳社。

#### ○川柳句集『ねぶた囃子』

図書

1979(昭和 54)年 10 月 20 日

195 mm × 135 mm

青森県川柳社の機関誌「ねぶた」の同人欄「山家集」の推薦選者の句文集。全国各地 60 名の著名柳人の作品と短文が掲載されている。全国的にも貴重なアンソロジーである。編者金枝万作。(発行者、発行所)記載なし。